

第8回
学術集会

大会テーマ 生活の中で性と向きあう

■午前の部■ (10時～12時)

基調講演

「生活の中で性と向きあう」

演者 大澤俊介

(児童養護施設 生長の家神の国寮)

座長 星野崇啓

(さいたま子どものこころクリニック)

■日時■

2022年7月3日 (日)

10時～17時

(受付：9時30分～)

■開催・参加方法■

オンライン

- ・Zoomでのオンライン開催を予定しています。
会員の場合：参加費は無料です。参加登録後視聴用IDをお送りいたします
- ・非会員の場合：参加登録をしていただき、参加費のお振込確認後、視聴用IDをお送りします。
- ・団体参加も可能です。詳しくは学会HPをご覧ください。
- ・当日の内容は質疑部分等を除き、参加登録者に後日配信いたします。

■午後の部■

(14時～17時)

●分科会1「生活の中の性と生」

企画者：藤澤陽子 (国立きぬ川学園)

シンポジスト：

河尻恵 (国立武蔵野学院)

花田悦子 (報恩母の家)

小柳紘介 (国立きぬ川学院)

●分科会2「支援者の価値観について対話するーソーシャルペダゴジーの概念と実践の結びつき」

企画者：益田啓裕 (追手門学院大学)



〈参加申込〉 ■申込先：右記QRコードを読み取り必要事項をご入力ください。

学会ホームページからお申し込み頂けます (裏面)。

団体申し込みは学会ホームページからお申込みください。

■参加費：学会員 無料／非会員 終日：5,000円、前半もしくは後半のみ：3,000円

■振込先：ゆうちょ銀行 〇二九店 当座 0105374



〈配信への参加方法〉

- ・受付時間になりましたら、あらかじめ配布しております視聴用IDよりご参加ください。
- ・学習集会の内容を録画することは禁止となっております。

日本ソーシャルペダゴジー学会第8回学術集会のご案内

テーマ：生活の中で性と向きあう

児童福祉施設において、性に対する議論や実践は以前よりも浸透してきました。しかし、子どもへの性教育や性問題への対応が中心であり、施設職員自身の価値観がもたらす影響や、性教育をうけて学んだことを施設職員が生活場面のなかでどのように気をつけるかなどは、これまであまり言語化されてきませんでした。

基調講演では職員から子どもへの一方的な教示だけではなく、(1) 職員の性と子どもの性との間に生じる関係性 (2) 環境的な設定への配慮 (3) 性に関する事象にふれるときの、職員の価値観や双方の感情の変化、に焦点を当て、異性の子どもにかかわる際の配慮や工夫や感覚、子どもに伝えることや子どもからの反応の受けとり方などを紹介する予定です。基調講演を受けて、分科会では生活の場で子ども・若者にかかわる職員のあり方をより深く議論したいと考えています。

< プログラム >

9:30 受付

10:00 開会の挨拶 森茂起（甲南大学）

10:05 基調講演「生活の中で性と向きあう」

座長 星野崇啓（さいたま子どものこころクリニック）

演者 大澤俊介（児童養護施設 生長の家神の国寮）

11:30 質疑応答 座長（指定討論者）とのディスカッション

12:00 休憩

13:00 総会

14:00 午後の部 分科会 *分科会は当日どちらかを選択してください。

● 分科会1「生活の中の性と生」企画者 藤澤陽子（国立きぬ川学園）：ひとは生きていく中で、性の発達、からだや心の変化が必ず起こる。そうした変化に、社会的養護の現場でどう向き合い、どんなやり取りをしていったらよいのか？社会的養護の様々な現場で働くシンポジストと日々の工夫や課題を共有し、参加者とのディスカッションを通して知見を深めたい。

● 分科会2「支援者の価値観について対話するーソーシャルペダゴジーの概念と実践の結びつき」

企画者 益田啓裕（追手門学院大学）：支援者の価値観は支援に大きな影響を及ぼすが、個人の中核的な信念にふれる部分でもあるため、日ごろは扱われることは少ない。分科会では、ソーシャルペダゴジーにおける価値観に関する見解を取りあげ、個々の支援者が持つ価値観と実際の支援との関係について、参加者同士での対話を試みたい。

16:45 閉会の挨拶

17:00 閉会

学会HPからも参加登録できます

下記QRコードを読み取るか、URLを入力いただき学会HPへお入りください。

<https://www.social-pedagogy.jp/>



HPからの参加登録方法

「学術集会」タブをアクティブにし、日本ソーシャルペダゴジー学会第8回学術集会の案内へとお進みください。

当日の参加

当日参加は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。